

## 坂井地区

まちづくり協議会 意見交換会 (H24.2.16 東十郷公民館 2F 14:00～)

---

### 質疑応答の概要

#### 東十郷まちづくり協議会

---

資料中業務のところに「教育委員会が行なう業務」「子育て支援課が行なう業務」とあるが、これは、その課がしますよという意味でよいのか。

#### 行政経営課長

---

集落センターを運営する感覚で考えていただければよい。社会教育に関しては、本庁で企画立案してコミュニティセンターを使用して実施します。子育てにつきましては、子育て支援課で人員を配置し、運営します。まちづくり協議会で運営するということではございません。

#### 東十郷まちづくり協議会

---

地域住民の生涯学習の場を確保するという観点から、教育委員会・社会教育委員会などで、議論、検討したのでしょうか。

#### 教育部長

---

生涯学習の取り組みについては、中央公民館の機能を生涯学習スポーツ課に置いて、企画立案し、もっと対象を広く実施して行くという提案を皆さんに昨年の秋に行いました。それ以前に教育委員会で方向性を議論しました。公民館の目的のひとつとして、まちづくり活動がありますがコミュニティセンターに移行して、そこを拠点として地域が発展していくということであれば、公民館の目的とも合致するということです。

#### 東十郷まちづくり協議会

---

教育については、行政が責任をもって保障することが望ましい、まち協へ指定管理としてそれを任せることがいいのかどうか。

#### 東十郷まちづくり協議会

---

まちづくり協議会を作った目的は何か。

#### まちづくり推進課長

---

自助・共助・公助による役割分担により、地域の活動を通して地域の活性化に繋げていくという目的です。

## 東十郷まちづくり協議会

---

公民館のまち協への委託は、まち協の当初設立の目的に合致したのか。

## 副市長

---

合併後自治区制、地域協議会制度を採用しました。まちづくりの方向性として、市民と共同のまちづくりということで、まちづくり協議会を設置しました。拠点を公民館としていることもあり、より使いやすく、地域が活性化するためにこのような方向を出したところです。当初から市の方向性としてこういう考えはありました。今回は再度皆さんのご意見をお聞かせいただきたい。

## 坂井木部まちづくり協議会

---

5年後ということが出ているがどうか。

## 副市長

---

行政の目標であり強制するものではありません。皆さん理解してお受けいただきたい。

## 坂井木部まちづくり協議会

---

職員体制のところで、館長などをまち協で選任するのでしょうか。

今の館長はだめなのか。

## 総務部長

---

まち協のなかで特定の人がいるのであれば選任していただくことになります。

公民館の機能は生涯学習スポーツ課が担いますし、館長とコミュニティセンターと分けて考えていただきたい。

## 教育部長

---

現在館長は、地域から推薦を受けています。地域をよく理解した人でなければならないと思います。コミュニティセンターへ移行後もそれは変わりません。

## 大関まちづくり協議会

---

以前臨時職について、公募をなさいと聞いたが、推薦と公募の考え方はどうか。

## 教育部長

---

どちらの方法でもいいと思います。

## 大関まちづくり協議会

---

公募であれば地区でやらなくても、市が実施すればいいのではないか。  
地区は複数推薦した、今回の方向性について市の考え方が整理されているのかどうか。

## 教育部長

---

地域の人にその人が適当かどうかという地域の意見をいただきたいという観点からのものです。

## 兵庫まちづくり協議会

---

目的は地域の活性化、地域は公民館区域単位ということで、地区の意識をまとめなさいということだと思います。そのためには、第1点は、拠点となる公民館を整備して欲しい。(ホールやまち協事務所なし) 第2点は坂井町の場合区長会があまり機能していない。区長会の交付金について均等割りなど計算方法を是正して欲しい。また地区への交付金などは一括して交付してもらえないか。交付金以外にも区民に負担がかかるような懸念がある。まち協の会長は全くの無報酬です、有給で人を雇う場合の人選の問題の心配もあります。

## まちづくり推進課

---

区長会交付金は、合併時の取り決めのおりの計算で交付しています。交付金の一本化については、まちづくり交付金・区長会交付金・管理運営交付金を整理したいと思っています。使い道についても柔軟な対応を考えています。

## 総務部長

---

運営交付金に人件費相当分があります、その中で有償・無償含めて決めていただければいいと思います。

## 生涯学習スポーツ課長

---

施設整備については、学校の耐震化が平成27年で終了することから、その後に改修することになります。耐震診断を平成26年度から実施予定です。

## 兵庫まちづくり協議会

---

目的がはっきりしない、ボランティアだから気軽に出来る部分がある。報酬をもらおうと責任が出る。考え方の発端を聞きたい。

## 東十郷まちづくり協議会

---

関連して、ボランティアでやっているから地域住民は「ご苦労様」という言葉が出る。まちづくり協議会が出来て4年目になり少し熱気が薄れてきた感じがある。今年役員改選だが、こういう話が出るとますます人選が難しくなる。

---

#### 大関まちづくり協議会

そのとおりであり、次の人にしっかりした形を作って引き継がなければいけない。

---

#### 坂井木部まちづくり協議会

報酬・人選などは進めて行く中で解決していかないと大変だと思う。管理運営をすることになると、具体的な問題が出てくる。社会教育から生涯学習に変わった時、地域住民の意見を取り入れましょうとなった。コミュニティセンターになった時、貸館業務で行っていく場合どう捉えたらいいか、まち協が取り入れていかなければいけないとなると、まち協の運営そのものに係わってくる。

---

#### 教育部長

コミュニティセンターで生涯学習の部分がやっていけるかということだと思いますが、定期講座・短期講座は、少人数の趣味的なものが多くなっています、今後は環境・防災などの身近な課題を市民に広く提供して行く場として、本庁に中央公民館機能を持たせて進めていきます。

---

#### 坂井木部まちづくり協議会

地域住民が利用しやすいように（貸館）という考えだけでなく、地域の問題を学習し、講座や教室にしていくことが大切だと思います。行政の指導や助言が今後どうなるのか、資料中「生涯学習講座は解決能力が高められる・・・」とあるのは理解しにくい。

---

#### 教育部長

現在各公民館で行われている文化的・趣味的な活動部分はそのまま継続していただくことになり、今後は生活・地域課題を取り上げて、幅広い人を対象に講座などを提供して行きたいと考えています。定期講座は3年で自主講座になりますが、その流れは継続して行きます。成人大学講座を坂井市として実施しているが、これを各コミュニティセンターで実施するイメージです。

---

#### 兵庫まちづくり協議会

公民館規模は、人口1万人に1館が適当だと思います、2千人程度のところで定期講座をするのは難しいので、かえてセンター方式で自由に組んだほうがやりやすい。「まちづくり協議会は、社会教育的なものしかやらないのか」と言われたことがあるが、何をどこまでやればいいのかはつきりさせた方がいいのではないかと。地域には交通安全などの課題もあります。

---

#### まちづくり推進課長

何をどこまでというものはありません、まちづくりのメニューはありますが、地域主体で行っていただきたい。

---

#### 副市長

まち協も色々工夫してやっていると思います。地域の特性により観光や環境の問題などの課題を発見し、話し合っ解決していく、その中で組織を強化していくために、地域の組織を活用して、まちづくり協議会に入っただいことも一つの方法だと思っます。イベントだけでなく地域の問題を話し合っ、交付金を有効に活用して欲しい。

---

#### 大関まちづくり協議会

この方向性には協力はしないといけないと思っている。まち協の底辺の課題があると思っます、それを抽出してモデルを作って横展開した方がいいと思っます。

---

#### 副市長

それぞれのまち協の体制も異なり、温度差もあります。市の支援策も十分考えなければいけないと思っます。難しく考えすぎずに、少しでも前へ進むように考えて欲しい。

---

#### 大関まちづくり協議会

大関の課題として、若い人が少ない。仕事をやりながらのボランティアであり空洞化してしまう。

---

#### まちづくり推進課長

共通課題として、地域に浸透していないとか人材育成なども含めて研修なども企画しています。またお知らせしますのでお願いします。

---

#### 東十郷まちづくり協議会

5年後の姿が書いてありますし、段階的な話も書いてあるが具体的な提示がない。整理して見えるような形で提供して欲しい。

---

#### 東十郷まちづくり協議会

教育委員会の業務が縮小されて貸館的業務になる、今後まちづくり主体に移行していく、生涯学習は本庁で企画して別途力を入れてやっていくという理解でよいか。

---

#### 教育長

貸館だけでなく、まちづくり協議会の部会などで文化振興についても地域で盛り上げて欲しい。体制すべてを整えて坂井市一斉にスタートできないので、修正しながら進めていきたい。

### 東十郷まちづくり協議会

---

館長の辞令は教育委員会からもらうが、仕事はまちづくり推進課からの協議会の仕事、地域課からの区長会の仕事である、この辺はすっきりしないと公民館職員としては非常にやりにくい。

### 教育長

---

公民館活動の仕事そのものが多岐にわたっている。これからの公民館活動は、地域づくりが主体となっています。市長部局へ移行しているところも多く、まちづくり協議会とタイアップしていけたらいいと考えています。

### 兵庫まちづくり協議会

---

今の公民館の中にすべての機能を持たせればいいのか。

### 兵庫まちづくり協議会

---

兵庫には別にコミュニティセンターがあります。要するに公民館を拠点としてまちづくり協議会が活動できるという考えで、将来市の支所的なものが来るのではないということです。

### 副市長

---

地域づくりの拠点であり、市長部局にして運営するのがベターだと考えています。一度に全部お願いするのではなく事務局体制を整えて順次移行していくという考えでいます。

### 東十郷まちづくり協議会

---

一度に出来るものでもないと思っています。受ける側としては非常に不安です。単純にコミュニティセンターになったとして、第1段階としていつ頃から始めるのか、スケジュールがあればお示しいただきたい。

### 副市長

---

平成 25 年度には各自治区で始められればと思っています。様々な問題もありますので順次拡大したいと思っています。

### 大関まちづくり協議会

---

中央公民館機能を生涯学習スポーツ課に持たせるということで、コミュニティセンターになった場合、公民館機能が内蔵されるのか全く別の施設になるのか。大関の場合、市の職員も入って活動していただいています。市の職員も方向性を理解していただいて、まちづくり協議会に入りリード

していただきたいと思います。

#### 大関まちづくり協議会

---

大関は職員皆入っているように聞こえますが、入って頂きたい。公民館は画一的で使い勝手が悪いと言っているが私はそうは感じていない。

区長会・まち協・体協などひとつの団体でありまち協が簡単に動かせるものでもない、まして区長は市の委嘱であり、まちづくり協議会に入れてというのがそう簡単にはいかない。尊重しなければいけないと思うから、区長会は別個に組織し、お願いはするが傘下に入れるようなことは出来ないと思います。

初めから反対している訳ではない、もっと具体的に見せて欲しい。

まちづくり協議会へも足を運んで欲しい。

#### 教育長

---

地域性もありますし、まちづくり協議会と区長会の関係などもあります。ボランティアである会長との関係などもお聞きしています。市の職員として地域で活躍することでご理解を得られる部分もあると思いますが、そういったことを含めてお話しさせていただきたいと思います。

#### 坂井木部まちづくり協議会

---

モデル地区という話があったが、出発前のこういう場が大事であり、地区へ帰って話してみて問題点を出すことが大事だと思うので段階を踏んで進めていただきたい。

#### 教育長

---

モデル地区ではなく、「手を挙げていただいたところから始めたい」という意味です。

#### 副市長

---

問題点を話し合う場を持ちますので、声を掛けていただければこちらからも出かけて行きます。遠慮なく言って欲しい。

#### 大関まちづくり協議会

---

手を挙げるのを待っていたのでは進まない。「こういう考えだからやってくれ」の方が進むのではないか。

#### 坂井木部まちづくり協議会

---

まち協側から話しを聞くと、強制的なところも聞こえてくる。今回強制はしないということなので、そういう方向で進めて欲しい。

大関まちづくり協議会

---

キャッチボールしながら進めて欲しい。まち協や区長会の交付金がある、やっている事業は同じなのでこれを一元化できないか、使いやすいように検討して欲しい。まち協自体の住民への周知不足もあるが地域の中に密着して進めていくことが大切だと思う。

坂井木部まちづくり協議会

---

会計システムは現在のものを使うのか考えていますか。

総務部長

---

まだそこまでは考えておりません。

大関まちづくり協議会

---

第二段階の具体的なお金の問題等を提案したらどうですか。先ほどからの区長会の交付金とか。

総務部長

---

区長会は独自で活動しているところもあります。この辺もうまく調整する必要があります。同じような目的を持ったお金ですので、ひとつにしたい考えはありますので今後調整していきたいと思えます。

大関まちづくり協議会

---

同じ目的をもったお金を一緒にして管理することはできますか。(通帳を分けずに管理する。) 通帳を分けるところは分けて管理すればいいのでは。

まちづくり推進課長

---

今のところ、区長会・まち協と分かれた交付金なので、同じ事業に使うのはいいがすみ分けをして欲しいということです。

行政経営課長

---

私のところのまち協では、区長会とまち協で補助金の使い道を協議します。区長会が単独で動くことはありません、その地域でひとつになって使用しています。

大関まちづくり協議会

---

それは大関も同じですが、領収書は分けて管理しなければいけない、そういう煩雑なことはやめたらどうですかということです。

副市長

---

区長会の了解の下で地域の中で有効に使うことはいいと思います。会計上は別にせざる得ない、交付金の有り方含めて検討させていただきます。

坂井木部まちづくり協議会

---

今の公民館長・職員の給与体系というのは、まち協ごとに23通りできるのか統一した見解を示すのか、検討をお願いしたい。

大関まちづくり協議会

---

きちんと問題解決しないと無理だと感じた。大関は今のままで何の不自由も感じていない、地域の拠点としてコミュニティセンターを運営すること、まち協自体を活性化すること、この2つを結びつけるのは少し飛び越えているように感じます。まち協をいかに活性化するか、もっと市が前面に出てやって欲しい、まちづくり基本条例も出来たが市の職員の関与もお願いしたい。イベントだけに顔を出すのではなく同じ土俵でやって欲しい。

行政経営課長

---

第二次行革でも職員の市民目線ということをやっています。新年度からはそういう体制で進めていきます。

総務部長

---

積極的に参加するようにしたい。

坂井木部まちづくり協議会

---

先ほどから前回という話があったが、前回とはいつのことでしょうか。

副市長

---

昨年10月から11月にかけて、区長会・まち協・地域協議会の方に集まっていただき、坂井市の公共施設のあり方の意見交換会があり、公民館についてこういう方向性を話させていただいた。

東十郷まちづくり協議会

---

今日の会議で各まち協として返事する必要があるのか。

副市長

---

そういうものではありません、今後も意見交換させていただきます。